

平成26年度入試【3年次編入学】

【考古学】

(法文学部 社会文化学科)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は1ページである。解答用紙は3枚、下書き用紙は3枚である。  
指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。

問1：考古資料は、「遺跡」、「遺構」、「遺物」の3つに概ね大別される。それぞれの特徴について、具体的事例を挙げて、できるだけ詳しく述べなさい。

問2：19世紀前半に提唱された「石器時代」、「青銅器時代」、「鉄器時代」という時代区分（三時代法：three age system）について、普及した背景や意義を、現在の研究動向を踏まえつつ、できるだけ詳しく説明しなさい。

問3：次の考古学における用語・資料について、できるだけ詳しく説明しなさい。

①型式

②層位

③ナイフ形石器

④島根県出雲市・出雲大社境内遺跡出土 宇豆柱